

部活動 バランスのとれた生活と心身の健全な成長のために

成長期にある生徒が学校での学習活動や部活動、学校外の活動、休養や睡眠などのバランスのとれた生活ができるよう、「北海道の部活動の在り方に関する方針」では休養日・活動時間の基準を示しています。また、学校は部活動に係る相談窓口を設置し、生徒の心身の健康管理などを徹底することとしています。

◇ 休養日・活動時間の設定（中学校・高等学校段階共通）

< 休養日 >

- ・ **週** 当たり **2 日以上**（平日 1 日以上、週末 1 日以上）



< 活動時間 >

- ・ **平 日** : **2 時間** 程度
- ・ **学校の休業日** : **3 時間** 程度



【高等学校段階における休養日・活動時間の弾力的な設定】

高等学校段階においても上記の基準を基本としますが、中学校段階の基礎の上に多様な教育が行われていること、部活動と密接に関わる分野への進路希望を有する生徒もいることなどから、一定の要件*の下、休養日・活動時間の弾力的な設定も可能です。

※一定の要件：部活動指導に係る教員の負担軽減につながる方策をとっていること

< 休 養 日 >

平日 1 日以上、週末は月に 1 日以上

< 活 動 時 間 >

平 日 : 3 時間程度

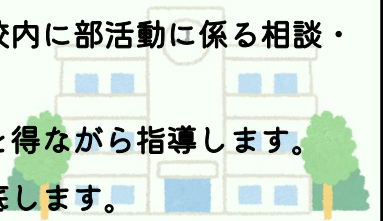
学校の休業日：4 時間程度

※週の活動時間は長くとも 16 時間程度



◇ 学校の取組

- ・ 校長は「学校の部活動に係る活動方針」を策定・公表するとともに、校内に部活動に係る相談・要望の窓口を設置します。
- ・ 年間及び月間の活動計画等を配布するなどして、保護者・生徒の理解を得ながら指導します。
- ・ 生徒の心身の健康管理、事故防止、体罰・ハラスメント等の根絶を徹底します。



◇ 家庭や地域での取組

- ・ 部活動休養日等の設定、学校の取組に御理解いただきますとともに、学校と家庭・地域が連携しながら部活動に取り組める環境づくりに御協力をお願いします。
- ・ 国が令和 5 年度（2023 年度）から令和 7 年度（2025 年度）を改革推進期間と位置付けている「部活動の地域連携・地域移行」の取組に御理解・御協力いただきますようお願いいたします。

部活動に関する北海道の取組等については道教委ホームページをご覧ください。



○部活動に関する Q&A

Q 部活動は必ず加入する必要がありますか？

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものです。部活動への参加を義務付けたり、活動を強制したりすることは適切ではありません。

Q 休業日3時間程度の活動のはずなのに9時集合13時解散は違反ですか？

活動時間には、準備や片付け、休憩時間などは含みません。集合・解散の時間だけでは、活動時間の基準を満たしているかどうか判断できませんが、毎回、準備や片付けの時間が長い場合には、準備や片付けの時間を踏まえて活動時間そのものを短めに設定するなどの配慮が必要と考えます。

Q 「部活動の地域連携・地域移行」ってどういうこと？

少子化が進み、部活動の数が減少したり、部員が不足し試合ができなかったりするなど、生徒のニーズに合ったスポーツ・文化芸術活動を学校だけでは支えられなくなってきています。

そこで、国は、部活動指導員等の地域の人材の協力を得ることや複数校でまともな活動を行う合同部活動の導入などの「部活動の地域連携」や、地域が主体となって新たに「地域クラブ活動」を立ち上げ、学校の部活動の代わりとなる環境を整備する「部活動の地域移行」を推進しています。

詳しくは、スポーツ庁の「部活動改革ポータルサイト」をご覧ください。

部活動改革ポータルサイト

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00003.htm



Q 「部活動」が「地域クラブ活動」に移行するのはいつ？

「北海道部活動の地域移行に関する推進計画」では、まずは、公立中学校等の休日の部活動を段階的に地域移行することを基本とし、国が改革推進期間と位置付けている令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までの3年間に取組を重点的に行うこととしています。

地域移行の取組は、地域の実情に応じて、各市町村が取組を進めていきますので、具体的な取組やスケジュール等は各市町村により異なります。

また、公立高等学校等については、地域や学校等の実情に応じて部活動の改善に取り組むことが大切と考えています。

Q 保護者や地域はどう協力したらよい？

部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われるもので、競技力や技能の向上、大会等の成績以外にも、人間性を育むこと、スポーツや文化芸術に親しみ楽しむことなど、生徒の多様なニーズに応じた活動としていくことが大切です。

学校内外の様々な活動とバランスをとるための休養日・活動時間の設定に御理解いただきたいと思えます。

また、地域の人材を募集する「ほっかいどう部活動・地域クラブ活動サポーターバンク」を運用していますので、興味のある方は、下記のリンク等から詳細をご覧ください。

「ほっかいどう部活動・地域クラブ活動サポーターバンク」

<https://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gkk/supporterbank.html>

